



早速対応

被災地 新潟で、肌で感じた感覚を忘れることなく、避難所、津波対策について県への要望を行なう

河野としのり県議

新潟中越地震で、市町村が避難所の立ち上げ運営する力は大変ひ弱な感じを持つた。防災はもちろん市町村が自立的に行うとしても、被災してから避難所として仮設住宅までの過度期は、人々も昏迷状態に近く、何とか立ち上がるうど気が張っているが、喪失感、疲労感は隠せない。役場の職員も例外ではない。やはり県が集中的に人員物資を投入し、かつ避難所を立ち上げ、軌道に乗るまでの避難所運営の援助をしていくべきだと思う。そのためには、県が避難所の立ち上げ運営まで細かい所までマニュアルを作り、市町村を指導し、かつ防災準備の診断を行なうべきである。また、防災体制は千葉市で十人ちょっとと、他の町村では一人というところもある。この規模で、災害時に避難所を立ち上げるには無理であり、どうして必要となる。



過去において一番被害の大きい元禄地震をものに、浸水区域予想をシミュレーションし、それに各市町村が防災拠点などを入れた津波ハザードマップを来年を目指し作成する予定である。防災海岸室

スマトラ沖大地震による津波のよろな被害は丈夫かと多くの県民は心配し不安を持っているが、どう考えているか。

河野としのり県議

平成十年に「震災時における避難所運営の手引き」を各市町村に配り、市町村で自主的な避難所運営を期待している。県も今回の派遣の経験からして、この手引きを見直し、より具体的に細かい運営マニュアルを作りたい。さらに市町村の防災体制を診断し、それを基に県の協力を明らかにしていく方向を検討していく。

河野としのり

県議

河野としのり

河野としのり

河野としのり 美浜区のための対談その一

平和交通・団地交通
取締役 吉田平氏

河野としのり 美浜区のための対談その一

吉田 河野県議が昨年稲毛海岸駅、検見川浜駅の列車本数の改善を求めた請願の採択に成功

JR京葉線に沿ったバス路線を



言つて叱つてくれたり、時には名前を言つて褒めてくれました。知らずと社会性が身に付きました。この話を社内でもよくします。私は、バスは単なる運転業ではなく、その空間でお客様と暖かいコミュニケーションが交わせるサービス業だと考えていました。いつもあるのは、これは創業精神ですが、「お客様にはどうするか」を常に想いながら乗車されます。自分の家の近くから乗れますので、美浜区の人にとっては大切な交通手段の一つだと思います。

「バス路線の充実を!」

京葉線のダイヤ改善 県の取り組み。そして市民のバス路線への期待

吉田 駅間のバスは確かに階段を上り下りする必要もなく、また自分の家の近くから乗れます

ほしいのですが、本当に我々はどうするか、なぜお客様の移動の中で安心と快適さを与えるにはどう

いために我々はどうするか、なぜお客様の移動の中で安心と快適さを与えるにはどう

なり、この姿勢が少し伝わったのかなと思います。

吉田 河野県議が昨年稲毛海岸駅、検見川浜駅の列車本数の改善を求めた請願の採択に成功

吉田 駅間のバスは確かに階段を上り下りする必要もなく、また自分の家の近くから乗れます

ほしいのですが、なぜお客様の移動の中で安心と快適さを与えるにはどう

いために我々はどうするか、なぜお客様の移動の中で安心と快適さを与えるにはどう

なり、この姿勢が少し伝わったのかなと思います。

吉田 駅間のバスは確かに階段を上り下りする必要もなく、また自分の家の近くから乗れます

ほしいのですが、なぜお客様の移動の中で安心と快適さを与えるにはどう

なり、この姿勢が少し伝わったのかなと思います。

吉田 駅間のバスは確かに階段を上り下りする必要もなく、また自分の家の近くから乗れます